

16. 「伸びゆく社会通信教育展」

(1) 趣 旨

広く一般社会人に対して文部省認定社会通信教育の周知普及をはかるため、文部省認定社会通信教育の概要ならびに各課程の内容に関する資料等の展示会を開催し、もって本県社会通信教育の振興に資する。

(2) 主 催

文部省・福島県教育委員会。

(3) 後 援

福島民報社、福島民友新聞社、ラジオ福島、福島テレビ、福島中央テレビ、NHK郡山放送局。

(4) 会 場

デパートうすい（郡山市）

(5) 開催期日

昭和45年10月15日(木)～19日(月) 9:30～17:30

(6) 内 容

① 文部省認定社会通信教育の概要ならびに各課程内容を示したパネル34枚（B全版）および教材(121種)、添削指導例、受講案内書等社会通信教育に関する資料を展示するほか、本県受講者概況図を掲示した。

② 開期中、社会通信教育協会指導員が受講相談に応じた。

(7) 効 果

昭和40・41年度開催以来、4年ぶりで文部省の共催により開催したが、県社会通信教育研究会の開催と併行し、各後援報道関係の協力を得て、社会通信教育振興上大きな成果を得た。5日間の開期中、約1,300人が観覧したが、会場デパート関係者の理解ある協賛、広報により盛会のうちに終了し、成人教育の進展に大きな効果があったものと思われる。

第3節 成人（婦人）教育

1. 概 要

本年度は、家庭教育学級、婦人学級における学習内容の充実と教育効果の向上、成人学校、学級、講座の拡充、高齢者学級の増設、高等学校開放講座の充実、社会通信教育の普及、PTAおよび婦人団体の指導者の養成、健全な活動の助長に重点をおいて推進してきた。

家庭教育学級における学習内容の充実と教育効果の向上については、学習方法上の実態調査に基づいて改善の方向を示すとともに、家庭教育研究会をとおして具体的研究を行ない、婦人学級については文部省委嘱、県研究婦人学級を拠点としてその充実と普及をはかり、婦人学級生大会をとおし、反省と今後の課題について検討してきた。

成人学校、学級、講座、高齢者学級については市町村教育委員会との緊密な連携のもとにその拡充をはかり、高等学校開放講座については実施高等学校の積極的な協力により内容の充実につとめてきた。

社会通信教育については郡山市において研究会を開催し、働きつつ学ぶ受講生の共同学習班を組織して普及充実をはかってきた。

PTA、婦人団体については、指導者研修会や運営研究協

議会を中核として、団体の民主的運営、本質的活動の促進につとめ、さらに一般行政との密接な連携、団体相互の連絡提携などにより、各校の条件整備をはかってきた。

2. P T A 指導研修会

(1) 目 的

PTAの組織、運営、活動上の諸問題について研究協議し、PTAの本質的活動の助長をはかる。

(2) 主 催

福島県教育委員会、福島市教育委員会。

(3) 期日・会場・参加者数

① 期日 昭和45年5月23日(日)

② 会場 福島市立飯坂小学校

③ 参加者数 642名（各校PTAより2名）

(4) 参加対象

小 中・高等学校PTA幹部指導者

(5) 講師および助言者

① 講師

元国立社会教育研修所長 二宮徳馬先生

② 助言者

県教育庁社会教育課員、高校教育課員、教育事務所社会教育担当者、学識経験者

(6) 研究内容

① 講義

「PTA本来の活動を進めるには」

② 協議事項

ア. PTAの望ましい組織と運営について

イ. 会員の教養を高めるための活動について

ウ. 児童・生徒の校外生活指導について

エ. 教育環境の浄化と改善のための活動について

(7) 効 果

高校PTAからの参加者を得て上記の4分科会をそれぞれ小・中・高の部会に分け、具体的事例を通して研究協議し、方策が検討され、幹部指導者としての理解と自覚が深められたので、PTAの地域活動の助長に貢献したものと思われる。

3. P T A 研究調査活動

(1) 目 的

PTAの本質的活動を推進するために、その組織、運営、活動をどのように改善すればよいかについて実践的研究を深める。

(2) 研究PTA

前年度よりの断続研究PTA

福島市立清明小学校PTA

いわき市立平第三小学校PTA

古殿町立田口小学校PTA

本年度新たな研究PTA

伊達町立伊達中学校PTA

郡山市立安積中学校PTA

矢祭町立石井小学校PTA

中島村立中島中学校PTA